



第30号

発行所
近畿大学農学部緑友会
広報・編集委員会
編集委員長 松崎 健一郎
631-8505 奈良市中町3327-204
TEL: 0742 (43) 1511
ht t p / www.na a k i n d a . a c j p /

緑友会会報も30号となりました

緑友会会長 森 本 正 則



どは生成AIでうまく仕上げる
ことができ、もはや人物評
価にせず、就活のエントリー
シートなども早々に使えな
くなりそうです。その様な時

代に必要となるのは、古くさ
い対面でのやりとりかと思
います。昭和世代の卒業生の方
々もどうか後輩との古くさい
対面でのコミュニケーション
の機会を持つて頂き、この先
の明るい未来に繋げられたら
と思うところです。最後にな
りましたが、今後とも緑友会
活動へのご支援ご鞭撻を、よ
ろしくお願いいたします。



100周年記念の年を迎えて

農学部長 森 山 達 哉



緑友会の皆さまにおかれま
しては、日頃から本学の教育
研究及び同窓会活動に多大な
ご援助ご協力を賜りまして、
厚く御礼申し上げます。
さて、本年はいよいよ本学

の開校100周年の年となりまし
た。9月には現在大阪の夢洲
で開催中である「2025年
大阪・関西万博」の会場にて
記念行事も予定されており、
農学部からも複数の展示ブ
ースの出展も予定されていま
す。本学の100周年記念の年
と、大阪・関西万博の年が一
致したことも、「いのち輝く
未来社会のデザイン」という
万博の標語が、農学部の学問
領域とも大いに重なること
も、不思議な縁を感じます。



農学研究科の近況

大学院農学研究科長 細 川 宗 孝

こうして本学が100周年とい
う長い歴史を刻んでこられた
のも、卒業生はじめ多くのス
テークホルダーの皆様のお陰
であるといっても過言ではあ
りません。卒業生の皆さんが
社会で活躍し、社会が本学の
卒業生や研究成果を必要とす
る、そのような良好な関係性
が絶え間なく1年ごとに繰り
返された結果として、この100
年の歴史があると言えます。

特に、ここ最近の本学の躍進
は皆様も存じの通りであり
ます。この勢いを維持しなが
ら、更なる高みを目指し、次
の100年の発展へと繋げるた
めにも、卒業生の皆さまの暖
かいご支援・ご協力が必要で
す。大学にとって、卒業生
の皆さまは何者にも代えがた
い財産です。引き続きのご支
援・ご協力、ご指導をどうぞ
よろしくお願いいたします。

農学部緑友会の皆様におか
れましては、ますますご健勝
のこととお喜び申し上げます。
平素より緑友会の皆様から
賜っております温かいご支
援、ならびに年度末には大学
院生への緑友会賞の授与に、
心より感謝申し上げます。受
賞は学生にとって大きな励み
となり、今後のキャリア形成
の糧ともなっております。

さて、現在農学研究科には
博士前期課程211名、博士
後期課程16名が在籍してい
ます。本年度も在籍者は増
加しておりますが、博士後期
課程については、依然として
定員には達していません。
このような状況下において、
博士後期課程学生について
は、全学および農学研究科
独自の減免枠により、該当
する8名全員に対して学業減
免が認められました。
さらに、本年度はJSTの
SPRING事業に採択さ
れ、農学研究科からは4名の

学生がプロジェクトメンバ
ーとして選出されました。彼
らには、一人あたり年間204
万円の生活費に加え、50万円
の研究費が支給されること
となっております。また、日本
学術振興会の特別研究員にも
複数名が採択され、後輩たち
にとつて大きな励みとなつて
おります。

本学で採択された教育プロ
グラム「知恵の輪」を活用
し、特別研究員の採択率向上
を目指して、教員によるピア
レビュー制度の立ち上げを行
いました。多くの教員の皆様
に多大なお時間を割いていた
だき、的確で温かいコメント
を頂戴しております。こうし
た「知恵」は、農学研究科の
かけがえのない財産になるも
のと確信しております。
私が研究科長を拝命した
際、前学部長より「大学院は
大学のエンジンである」との
お言葉を頂戴し、その言葉が
今も私の原動力となっており
ます。学生たちが思う存分、
安全に研究に取り組めるよう
なグラウンドや道具を整備す
ることが、私たち教職員の使
命であると考えております。
一流のプレーヤーが育つため
の土壌は、確実に整いつつあ
ります。

令和6年度 緑友会賞一覧

博士後期課程

専攻	氏名	博士学位論文題目
バイオサイエンス専攻	吉久 采花	イネNB-LRR型受容体Xa1が誘導する白葉枯病抵抗性経路の分子基盤
環境管理学専攻	八嶋 勇気	日本産ドジョウ属2種間に成立する生殖隔離機構に関する研究

博士前期課程

専攻	氏名	修士論文題目
農業生産科学専攻	西川 拓	メロンにおけるToLCNDV抵抗性遺伝子のファインマッピング
	田原ほの花	大学・地域連携の一方策としてのCSA (Community Supported Agriculture) の有効性の検証と実践
水産学専攻	丹原 弥空	田辺湾養殖漁場における海洋細菌による溶存有機物の無機化
	三木 慎也	長期モニタリングによって明らかとなった高知県浦ノ内湾に生息する希少魚アカメの行動生態
応用生命化学専攻	伊藤 稜	昆虫のニコチン性アセチルコリン受容体に対するネオニコチノイドの選択的作用の分子機構
	北詰 花菜	α -イソプロピルリンゴ酸合成酵素を制御するアロステリック情報伝達機構の解明
環境管理学専攻	長谷川正明	Diels-Alder反応を用いた多環性キノンの効率的合成法の開発と抗菌活性評価
	村瀬 駿弥	相対照度と色がマイマイガの産卵選択に及ぼす影響
バイオサイエンス専攻	奥田 覚子	脂肪酸分析を用いた淡水二枚貝イシガイ科の同化餌資源の評価
	吉本 光希	イネいもち病菌 <i>Magnaporthe oryzae</i> 由来新規GH18キチナーゼMoChia1の基質認識機構に関する研究
環境管理学専攻	山口 和宣	新規コネクターRcsGが形成する糖取り込み系-二成分制御系ネットワークとその生理学的意義

農学部の近況

奈良キャンパス学生センター長

植 田 昌 伸



農学部緑友会の皆様、いか
がお過ごしでしょうか。日頃
から本学の教育研究活動等に
多大なるご支援ご指導を賜り
厚く御礼申し上げます。
近畿大学におきましては、
今年度創立100周年を迎えるこ
とができました。これもひと
えに皆様のお陰だと心より深
く感謝申し上げます。次の100

今後とも農学研究科が人材
育成の拠点となるよう、教職
員が一丸となつて環境整備に
努めてまいります。緑友会の
皆様におかれましては、引き
続きご支援を賜りますようお
願い申し上げます。

特待生制度の適用拡大を行
いました。施設設備面では、食
堂棟の改修、調整池A (体育
館横) の浚渫・補修、新教室
棟のAV設備の更新などを行
いました。なお、食堂名を学
生から募集し、177件の
応募があり厳正なる選考の結
果、「もりもり食堂」と改名
いたしました。

さて、大阪・関西万博のテ
ーマ「いのち輝く未来社会の
デザイン」には、本学農学部
のイノベーションが必要不可
欠だと思えます。今後イノ
ベーションを生み出す環境を
整備していく所存です。
最後に、農学部緑友会の益
々の発展と皆様のご健勝とご
多幸を祈念いたします。

緑友会へのメールアドレスの登録をお願いいたします

近畿大学では、デジタル化の推進を進めています。
将来的には、緑友会会報を紙媒体から電子配信へ
と移行する予定です。今後とも緑友会とのつながり
を大切にいただくため、メールアドレスの登録
にご協力いただけますようお願い申し上げます。



【メールアドレスの登録はこちら】

<https://forms.gle/Ht1F2PxSVAPhGHuy5>

会報発送封筒お名前の下に記載の卒業学部
研究室 (漢字2文字)、卒業年度 (和暦数字)
の入力をお願いいたします。



当学科では、4月に新入生130名を迎え、新学期をスタートしました。前年から教員メンバーに変更はなく、研究室の体制も変わりはありません。これまで、農業生産科学科では、「作る・儲ける・知る・尖る」という4本柱を掲げて教育・研究活動を展開してきましたが、この4本柱の設定から約10年が経過し、「農」をめぐる社会情勢は大きく動いています。時代の変化に合わせて学科の新たな基軸を打ち出すべく検討を進めているところです。また、ここ数年、大学院への進学者数が増加傾向にあり、各分野における研究活動はますます活発に行われています。今後とも、卒業生の皆様のご支援・



農業生産科学科
学科長
神崎 真哉

学科の近況



水産学科
学科長
福田 隆志

ご協力をよろしくお願い申し上げます。

当学科では、桜が満開のものと117名の新入生を迎え、新年度を迎えました。また、卒業式もコロナ禍以前の形式で行いました。卒業生のご健康とご活躍を祈念しています。学科の近況ですが昨年に続き30名近くが大学院に進学しました。各教員の優れた研究指導のおかげと感じています。秋には森本正則先生がサバティカル休暇（スペイン留学中）から戻ってこられます。また、生命資源化学研究室の澤邊昭義先生と生物制御化学研究室内の伊原誠先生が教授に昇任され、教育と研究に一層励んでいただきます。今まで通り6つの研究室で研究・教育を進めていきますので、緑友会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

当学科では、桜が満開のものと117名の新入生を迎え、新年度を迎えました。また、卒業式もコロナ禍以前の形式で行いました。卒業生のご健康とご活躍を祈念しています。学科の近況ですが昨年に続き30名近くが大学院に進学しました。各教員の優れた研究指導のおかげと感じています。秋には森本正則先生がサバティカル休暇（スペイン留学中）から戻ってこられます。また、生命資源化学研究室の澤邊昭義先生と生物制御化学研究室内の伊原誠先生が教授に昇任され、教育と研究に一層励んでいただきます。今まで通り6つの研究室で研究・教育を進めていきますので、緑友会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

当学科では、今春に新入生96名および檜崎恵巳契約助手を迎え、新年度を迎えました。一方、3月末で尾島朋子契約助手が退職されました。3月2日に行われた第39回管理栄養士国家試験では、新卒業生79名が受験し66名が合格しました（合格率83・5％）。この値は、全国平均（新卒）の合格率80・1％よりも3・4％高いものとなりました。9月には、厚生局による管理栄養士養成課程の指導調査が行われました。概ね10年ごとに行われる立ち入り調査であり、事務と一緒に乗り切ることができました。今後も教員一丸となって教育・研究に邁進し社会に貢献する人材を育成します。ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当学科では、この春、例年よりも多い149名の新入生を迎えて新たなスタートを切りました。教員人事では、令和6年度末に退職された松本光朗先生の後任として、正木隆先生（森林資源学研究室）が着任されました。正木先生は、森林生態系を支える多様な生物の研究を通じて、持続可能な森林管理の在り方を研究されており、当学科における森林学分野の更なる発展に貢献されるものと期待されます。また、令和7年3月には卒業生の皆様にもお馴染みの近大里山ビオトープが、環境省の「自然共生サイト」に認定されるなど、環境保全活動を続けています。卒業生の皆様には、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



生物機能科学科
学科長
佐渡 敬

当学科では、私が学科長として初めてかわった入試の結果、例年より少し多い138名を令和7年度の新入生として迎え入れました。7研究

緑友会名簿訂正（変更）届

氏名	卒業学科	年度
所属研究室		
現住所		
勤務先		

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273（内線2030）メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp



応用生命化学科
学科長
上垣 浩一



食品栄養学科
学科長
近藤 高史



環境管理学科
学科長
城島 透



学科研究室・教員

農業生産科学科

- 作物学（飯嶋 盛雄・山根 浩二・廣岡 義博）
- 育種学（種坂 英次・築山 拓司）
- 園芸植物学（神崎 真哉・小枝 壮太）

- 植物感染制御工学（松田 克礼・野々村 照雄）
- 昆虫学（香取 郁夫・米谷 衣代）
- 農業経営経済学（大石 卓史・増田 忠義）
- 花卉園芸学（細川 宗孝・山崎 彬）

水産学科

- 水産増殖学（澤田 好史・石橋 泰典・亀甲 武志）
- 水産生物学（小林 徹・小林 靖尚・渡邊 俊・村上 悠・竹内 綾）
- 水産環境学（永田 恵里奈・谷口 亮人）

- 漁業生産システム（光永 靖・鳥澤 眞介）
- 水産利用学（安藤 正史・福田 隆志・田中 照佳）
- 海棲哺乳類学（酒井 麻衣）

応用生命化学科

- 応用微生物学（上垣 浩一・倉田 淳志）
- 食品微生物工学（白坂 憲章・福田 泰久）
- 応用細胞生物学（森山 達哉・財満 信宏）

- 生物制御化学（松田 一彦・森本 正則・伊原 誠）
- 生命資源化学（飯田 彰・澤邊 昭義・山下 光明）
- 森林生物化学（板倉 修司・梅澤 究）
- 学科共通（吉岡 佐知子）

食品栄養学科

- 栄養教育学（小川 直子・明神 千穂）
- 臨床栄養学（木戸 慎介）
- 病態栄養学（伊藤 龍生）

- 公衆栄養学（森島 真幸）
- 給食経営管理栄養学（富田 圭子）
- 生体機能学（佐久間 圭一郎）
- 栄養機能学（増田 誠司・竹森 久美子）
- 食品化学（近藤 高史）

環境管理学科

- 水圏生態学（北川 忠生・河内 香織・宮崎 佑介）
- 生態系保全（早坂 大亮・澤田 拓夫・ジン タナンゴナン）
- 環境化学（城島 透・清水 哲）

- 森林資源学（正木 隆・井上 昭夫）
- 国際開発・環境学（松野 裕・木村 匡臣）
- 環境政策学（鶴田 格・前湯 光弘）

生物機能科学科

- 植物分子生理学（田茂井 政宏・佐古 香織）
- 植物分子遺伝学（川崎 努・山口 公志）
- 動物発生工学（加藤 容子・岡村 大治・谷 哲弥）

- 生体分子化学（大沼 貴之・武田 徹）
- 動物分子遺伝学（佐渡 敬・西原 秀典）
- 分子生物学（篠原 美紀・加藤 明宣・松崎 健一郎）
- 生物有機化学（北山 隆）

教養・教育基礎部門

木村 正則・赤羽 仁志・西垣 佐理・シェリダン ロバート ジョーン

下線：新任

新任の挨拶

水産学科 水産生物学研究室
講師 村上 悠

令和7年4月1日付で水産学科水産生物学研究室に講師として着任いたしました村上悠と申します。前職では京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻ゲノム編集育種講座にて、魚類の遺伝的改良に関する研究に取り組んでまいりました。専門は水産遺伝学であり、魚類や水産生物における育種・ゲノム編集技術の応用に関する研究に注力しています。私は2020年4月から2022年12月までの間、本学に研究員として在籍した経験があり、このたび再び本学の一員として教育・研究に携われることを大変嬉しく思っております。本学は「近大マクロ」に象徴される水産分野の成果で広く知られていますが、そのイメージをさらに高める一助となるよう、学生の皆さんとともに学び、成長してまいりたいと考えています。至らない点もあるかと思いますが、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

環境管理学科
教授 正木 隆

令和7年度から環境管理学科森林資源学研究室に教授として着任いたしました正木隆と申します。前職では国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所にて、生物多様性や生態学・造林学関係の研究を統括するとともに、研究セキユリティ・インテグリティ関係のマネジメントにも携わっております。さて、着任から2ヶ月が経過する中、1年生の皆様への講義や2年生以上の皆様の実験や演習などに携わって参りましたが、学生の皆様の姿勢や態度がとても印象的です。生物多様性に対する関心の高さ、裏山での調査の際の軽やかな身のこなし・さすが環境管理学科を選んできた皆様だと感心するばかりです。そんな将来のある学生の皆様の学びを最大限支援できますように、微力ながら貢献していきたいと考えております。どうかよろしくお願い申し上げます。

農学部食品栄養学科
助手 榎崎 恵巳

令和7年度より食品栄養学科の助手として着任いたしました榎崎恵巳と申します。私は、昨年度3月に農学部食品栄養学科を卒業いたしました。在学中は、食品化学研究室に在籍し卒業研究ではうま味に関する研究に取り組んでおりました。また、子どもたちに食育の楽しさを伝えたいという想いから管理栄養士に加え、栄養教諭の資格も取得いたしました。

退任の挨拶

水産学科
前教授 江口 充

令和7年3月15日。最終講義を終え、祝賀パーティーには90名を超える教え子が集まってくれました。白髪や頭髪が寂しくなっている教え子に会うと、改めて40年という歳月を実感しました。

昭和の終わり。東大阪で学生とジムで汗を流し、長瀬で飲み、近大節を歌いました（無論、教育研究も頑張りました）。平成に入り奈良へ移転。平成の中頃にはCOEやGCOEといった文科省の大型資金も獲得でき、留学生やボスドクも多く受け入れ、院生も増え、教育・研究共に充実した時期でした。農学部ラグビー部やサイクリング部等の部長も引き受けました。

今後は副学長として、もう少し近畿大学に関わりますが、農学部は卒業します。これまで本当にありがとうございました。皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りしております。

環境管理学科森林資源学
前教授 松本 光朗

7年間という短い期間でしたが、皆様には大変お世話になりました。

私が近畿大学に赴任した時、関西、西日本において森林を系統立って学べる私立大学はありませんでした。そこに森林資源学研究室を創設すると、森林を学びたい学生が各地から集まりました。また、学ばば森林や自然を守る職業に就きたい学生が増え、林野庁や地方自治体の公務員を目指す学生も始めました。今では研究室の半数が、国や都府県の森林・林業職に就いています。

5月の連休明け、私の退職記念パーティーを開いていただきました。遠く関東や九州からの参加者も含め、半数近い卒業生が集まってくれました。社会人として遅く育った彼ら・彼女らを見ながら、背中を押す役割ができたことを誇りに思いました。キャリアの最後に、大学教員という未来に繋がる職業を選んで良かった。その機会を与えていただいた近畿大学、農学部、環境管理学科、関係者の皆様には、心より感謝する次第です。



食品栄養学科
前契約助手 尾島 朋子

緑友会の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

2020年4月より食品栄養学科の契約助手として着任し、2025年の3月末をもちまして退職いたしました。社会人になりたての未熟な私を、在職期間中、農学部の教職員の皆様に丁寧にご指導いただき、温かく支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

学生時代を含め農学部で過ごした9年間は、充実したものでした。卒業生として、職員として、在学生の皆さんが授業で少しでも多くのことを吸収できるように、笑顔で学生生活を送ることができるよう心がけながら勤務しておりました。

研究活動では、専門性を高めながら多くの経験を積み重ねていただきました。そして農学部の先生方の仕事や研究に対するお考え等、多岐にわたって学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

末筆となりましたが、近畿大学農学部ならびに緑友会の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

住宅リフォーム専業会社として おかげさまで創業28年！

施設・ご自宅のリフォーム工事のことなら

なんでもお気軽にご相談ください。



☆ 内装、水廻り設備入替から

網戸張替などの小工事も承ります。

株式会社 **アルファリフォーム**

〒544-0023 大阪市生野区林寺5丁目12-10

TEL **0120-81-2406**

HP: <http://www.alpha-reform.co.jp>

E-mail: info@alpha-reform.co.jp

見積は
無料です

いのちをつなぐ企業 株式会社アクアテイメント



aquatainment

06-6955-9681

✉ info@aquatainment.jp

代表 松前(西林) 水産学科2005年卒業



通信制 で学ぶ

もう一つの道
分析化学の仕事



分析化学者
への道

日本分析化学専門学校
先端化学分析学科

☎ 0120-198-257



緑友会会報原稿募集のお願い

緑友会会報は、同窓生の皆様を結びつける年に一度の会報です。できるだけたくさんの方からの寄稿をお待ちしています。原稿の形式は特に問いません。お気軽にお寄せいただければ幸いです。緑友会事務局又は、研究室の先生宛にご送付下さい。



連絡先：近畿大学農学部 緑友会事務局
〒631-8505 奈良市中町3327-204
電話 0742-43-7273 (内線2030)
メールアドレス ryokujimu@nara.kindai.ac.jp

緑友会へのご寄付のお願い

このたび緑友会は、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与、現役学生の親睦レクレーション開催協力などの緑友会活動のさらなる活動充実の為の原資として卒業生のみなさまにご寄付をお願いする次第です。経済状況が厳しい折に誠に恐縮でございますが、緑友会の現状をご理解頂き、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお寄付金は一口5,000円とさせて頂き、お一人様の上限はございません。お振り込みの際には、氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますようお願い申し上げます。(お手数ですが、お振り込み後にお電話またはメールで、ご住所、お名前、卒業年度をお知らせ頂ければ幸いです)

〇振込口座〇 三菱UFJ銀行 富雄出張所 普通 3574857 近畿大学農学部 緑友会
〇連絡先〇 近畿大学農学部 緑友会事務局 電話 0742-43-7273 (内線2030)
電子メール ryokujimu@nara.kindai.ac.jp

寄付者芳名一覧 (2024年度ご寄付分)

・李 忠儒様 (校友会 食品支部 相談役)

今後も会員相互の親睦を深め母校の発展に寄与して参りたいと考えております。どうかご支援賜りますようお願い申し上げます。

新入生の夢

私の夢

農業生産科学科
相樂 眞

私が農業生産科学科に進学した理由は幼い頃から好きな野菜や果物のことを詳しく知り、自分自身が農業に携わりたかったからです。もともと農業や野菜などを育てることに興味を持っていました。そして中学生の頃、授業の中で日本の農業が衰退しているということを学びました。それを知ったときに私は日本の農業を支える人になりたいと思いました。そのため、本学では、農学の基礎知識から実践的な方法まで学びたいです。また本学に入学して、数多くの学問や分野が農業を支えていることを知り、大学では嫌われ者の害虫を益虫と呼ばれる存在に変えることを目標として研究したいです。

近畿大学に入学して

応用生命化学科
伊東 一慧

私は昆虫や生き物が好きです。自宅周辺には田や森林が点在し、幼少期から虫は友達に世の中虫嫌いの人が多いです。私は昆虫が少しでも人々に受け入れられるように、大学では嫌われ者の害虫を益虫と呼ばれる存在に変えることを目標として研究したいです。

私の将来の夢は、ウナギの養殖を行うことです。そのために、近畿大学での研究を通じて、ウナギの完全養殖技術を学びたいと考えています。近畿大学水産研究所は、ニホンウナギの完全養殖に成功し、持続可能な養殖方法の確立を目指しています。この研究は、天然資源に依存せず、安定した供給を実現するためには欠かせません。私は近畿大学で学ぶことで、ウナギの生態や繁殖に関する知識を深め、実践的な技術を習得したいと思っています。特に、ウナギの稚魚を人工的に育てる技術や、環境に配慮し

私の夢

水産科学科
清水 友太

私の将来の夢は、ウナギの養殖を行うことです。そのために、近畿大学での研究を通じて、ウナギの完全養殖技術を学びたいと考えています。近畿大学水産研究所は、ニホンウナギの完全養殖に成功し、持続可能な養殖方法の確立を目指しています。この研究は、天然資源に依存せず、安定した供給を実現するためには欠かせません。私は近畿大学で学ぶことで、ウナギの生態や繁殖に関する知識を深め、実践的な技術を習得したいと思っています。特に、ウナギの稚魚を人工的に育てる技術や、環境に配慮し

自分の夢

食品栄養科学科
大西 功晟

私の夢は生活習慣病で苦しむ人を減らすこと、サッカ1日本代表の専属料理人になることです。これらの夢を持つたのには、それぞれ理由があります。1つ目の夢に関しては、母親が癌で亡くなったからです。1番辛かったのは元気がなかった母親が弱っていく姿を当時の私はただ見るしか出来なかったことです。母親の死後、もし母親が日常的に栄養満点の料理を食べていれば、癌になることなく、今も元気に生きていたのではないかと思うようになりました。こうして、管理栄養士になって生活習慣病で苦しむ人を減らすという夢を持ちました。2つ目の夢に関しては、サッカーが好きなきともありますが、1番の理由は日本代表になるくらい大変な努力をした人たちと一緒に仕事をしてみたいからです。彼らがどうゆう生き方で、どうゆう考え方をしているのか、直接学んでみたいのです。これらの夢のために私は近畿大学で4年間、色々な人から様々なことを学び、成長していきたいです。

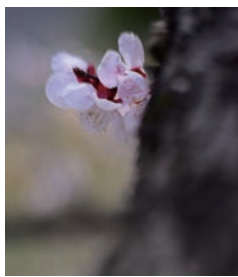
私の夢

環境管理科学科
支 敬宇

私には夢があります。それは、いつか自分の頭の中心の世界を、精密に表現することです。私は、人々の自由な活動によって世界が作られるべきであると考えています。そして私は、ひとりひとりの様々なバックボーンによる色とりどりの行動が好きです。それは、先進的な商品の開発でも、たとえ働いていなくとも、全てが必要だと感じる

考えています。

本学農学部板倉教授の森林生物化学研究室では、シロアリを食料・飼料・燃料などとして様々な活用する研究が行われています。もし火星でシロアリを飼育すれば、空気中の窒素を人間が利用しやすい化合物に変換する能力を持つていてくれるのです。「世の中には絶対無理だと言われる研究がたくさんある。誰も手をつけていないオリジナルなことを考え続けていけば、10年後に世間のほうがついてくる」と教授がおっしゃるように、私も世の虫嫌いの人々を虫好きに変えられるほど斬新かつ有益な昆虫活用法を見つけたと思っています。



冬の味覚♪近大クエ鍋・近大クエタマ鍋
先行受付開始！

緑友会会員様にはご優待価格でお楽しみいただけます
<https://a-marine-shop.com/qr/8182>
株式会社アーマリン近大
TEL: 0739-42-4116 shopping@a-marine.co.jp

水族館以上、
であること

水族館の枠にはまらない面白いく、楽しいこと、素敵なこと、はじめます。

城崎マリンワールド
KINOSAKI MARINE WORLD

私の夢

生物機能科学科
是枝 萌乃葉

私の将来の夢は病の新たな治療法の開発に携わる人材になることです。高校時代に希少疾患を患う方たちについての特集を見る機会がありました。その特集の中で患者の方々が使用している薬の説明があったのですが、その薬は治療薬ではなく病気を悪くする血圧上昇や手の震えなどの症状を抑えるためのものでした。この特集を見て現在患っている病気の根本的治療法がなく、学校や仕事など日常的な生活に支障をきたしている方がいることを知り、そのようなひとが少しでも少なくならないように、後悔をすることがない大学生生活を過ごしたいと思っています。

近畿大学校友会
食品支部
会員募集中！

— 支部概要 —

設立 平成26年6月7日
支部長 酒井 恵二
年会費 5,000円 (臨時減額中)
会員数 130名 (令和7年4月1日現在)

連絡先
【事務局】
立花容器株式会社
岡山県小田郡矢掛町浅海385-1
TEL 0866-82-3300

食品支部は、2014年6月7日に「食」に関する専門職支部として設立しました。以来、会員数も100名を越え、会員間でのビジネスマッチングを目的とした定期例会や国内外の会員企業への視察研修など、さまざまな活動を積極的に展開しています。おかげさまで昨年 設立10周年 を迎える事が出来ました。

食品メーカーだけでなく、広く全国の農林水産業・飲食・小売・流通・機械・設備・梱包資材等、食品産業全般から参加を募っております。

ビジネスマッチング会合などの活動で、ご校友の皆様との輪が広がり新たなビジネスチャンスに繋がる様、当支部活動へのご参加を心よりお待ちしております。

近畿大学校友会食品支部 10周年記念総会
2024.7.27

現在、どのような病に携わりたいのか、また基礎研究したいのか、新薬の開発に携わりたいのかなど具体的に考えていくための知識が足りないため、本学の4年間の講義や実技を通じて「私の夢」を実現することができるよう、後悔をすることがない大学生生活を過ごしたいと思っています。

近畿大学校友会 食品支部 Facebookのご案内

公式Facebookを開設しております。
校友会食品支部の様々な活動や情報をお届けしています。

近畿大学校友会 食品支部



すべては日本の農業のために
農学研究科農産学専攻(令和年度卒)
春名 啓介

大学院在学中、私は毎日のように実験圃場へ足を運んで、作物の管理を行い、自身の研究テーマについて発表する機会があればその都度資料を作成していました。これらの経験は、今の仕事に活かしていると日々感じています。

昨今の地球温暖化による異常気象の影響で、品種に求められる特性も変化してきています。これからの現地のニーズをしっかりと把握し適切な提案を行うことで、日本の農業に「タネ」を通じて貢献できよう頑張っていきたいと思っています。

「好き」を仕事に
アザラシと過ごす日々
水産学専攻(令和年度卒)
原 瑞葵



保護の現状をお客様に伝えることができるこの仕事に、誇りを持っています。

私は北海道紋別市にある、オホーツクとつかりセンターでアザラシの飼育員をしています。当施設は、アザラシランドとアザラシシーパラダイスの2つの施設で構成されており、野生のアザラシを保護、飼育するだけでなく、餌やり体験も行っています。大好きなアザラシに関わりつつ、自分の言葉でその魅力や

に何が必要かを考え、ワモンアザラシの研究や、学芸員・潜水士の資格の取得にも取り組ましました。大学生活はやりたいたいことと学びたいこと、何でも手が伸ばせる4年間でした。野生のアザラシの研究に関わりたいため、北海道に2週間滞在したこともありまし

ラフトビルも造り続けており最近ではウイスキーやジンも造っています。私の業務内容としては酒税法に関する製造事務、またウイスキーに関する業務も行っています。特にウイスキーに関する業務では学生時代に培った酒への科学的な知識が活かれています。ウイスキーは製造から製品化までの間に熟成に時間がかかるお酒であるため私が関わっ

「もっと」のその先へ
食品栄養科(令和年度卒)
竹本 日向子

たものが消費者に届くのはまだ先ですが、その時を思うと胸が熱くなります。私は元々お酒が好きで研究内容や職場をお酒に関するものという軸をもって選び、結果として現在やりたいことが出来ておりとても充実しています。学生の皆さんも自分は何が好きか・何に興味があるかを考え、それを軸にして様々な選択をする中で自己実現できると

現在担当している仕事は大きく分けて2つあります。1つ目は、自らアイデアを出して新しい焼き菓子の提案をすること。もう1つは、既存商品をさらに美味しくブラッシュアップするべく取り組み続けることです。

弊社のスローガンは「もっと楽しく、健康に」ですが、社会人3年目になった今、現状に満足することな

く「もっと」を追求する向上心の大切さを改めて感じています。

みなさんも現状に満足することなく、もっともっと！の精神をもちさらに活躍されることを願っています。



ルワンダの農業現場より
環境学専攻(令和年度卒)
木下 湊大

私は2020年度に環境管理学科を卒業後、奈良県庁に入庁し、農業農村整備事業に携わってきました。そ

理学科を卒業後、奈良県庁に入庁し、農業農村整備事業に携わってきました。そ

そのときの学びや経験が、巡り巡って現在の活動へとつながっています。卒業後も先生方とともに活動させていただく機会があり、今後もしつたつがりを大切にしていきたいと考えています。

言語や文化の違いはあるものの、農家の方々の声に耳を傾け、それを形にしていく姿勢は、日本でもルワンダでも変わらないはずだ。その想いを胸に、ルワンダの農業発展に少しでも貢献したいと思っています。



私は現在、黄桜株式会社で働いています。黄桜は日本酒メーカーという認識の方が多いと思いますが、30年近くク

職場紹介
農学研究科生命化学専攻(令和年度卒)
大西 徹



現地では、農業用ため池や水路の適切な管理、水利効率の向上を通じて稲作の振興を目指し、組織づくりや技術支援に取り組んでいます。ルワンダでは、国民のおよそ70%が農業に従事しており、生活と農業の結びつき、そして農業を支



技術の進化とともに成長し、研究者の皆様を全力でサポートしてまいります。



研究室での学びを活かして
農学研究科バイオ工学専攻(令和年度卒)
森田 一世

サーモフィッシュサイエンスの点検や修理だけでなく、機器の点検や修理だけでなく、時にはお客様に最適な製品のご提案も行い、お客様の研究が円滑に進むようサポートするのが私の仕事です。この仕事の魅力は、最先端のライフサイエンス技術に触れることと、そして学生時代の専攻であった分子生物学の知識を活用できることです。昨年は専門的な分子生物学の知識が必要な特に難しいトラブルシューティングを成功させたことや、業務改善活動での成果などが評価され、部門内のトップパフォーマンスとして表彰されました。サーモフィッシュサイエンスのライフサイエンスの使命は、「世界をより健康で、より清潔、より安全な場所にする」ことです。これからの技術の進化とともに成長し、研究者の皆様を全力でサポートしてまいります。

在学生だより

教室から研究室へ

農業生産科学科
作物学研究室4年生
長尾 匠真

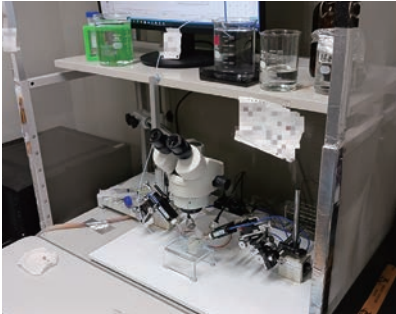
大学生活も4年目に入り、授業中心の生活から研究室を基盤とした生活へと変化しました。これまでの3年間は少し受動的に授業を受けていることもありましたが、試験の良い評価を目標に学習してきました。今までの3年間とは異なり、研究室では自ら能動的に動き考える姿勢が求められます。実験を進める中で疑問を感じた際には、教授や指導院生にすぐに質問することや論文を読み進めて理解を深めることが重要です。その疑問に新しい発見のきっかけが落ちていることが多々あるからです。



私の研究テーマは、生理・形態測定に基づくイネのストレス耐性評価です。研究対象がイネであるため、暑い日や雨の日でも水やり等の管理作業を欠かすことはできません。特に夏の管理作業や調査は暑さが厳しいですが、この経験が将来の日本のコメ生産に貢献すると信じ、日々努力を重ねていきます。研究を通じて、実社会に役立つ知見を得たいと考えています。

ご縁がありまして
応用生命科学科
生物制御化学研究室4年生
穂積 芳季

両親によって出願されたことが、私が近畿大学に入学したきっかけでした。加えて、入学当初は入学式や学科の親睦会といった重要な行事に欠席、あるいは遅刻するという体たらくぶりでした。そんな私が今回「在学生だより」に寄稿の機会をいただいたのは、先生方とのご縁によるものです。この「縁」というものは、思いがけず新たな知見にも出会わせてくれるようです。私はよく大学の図書館を利用し、生命科学に関する書籍を読むうちに神経科学に興味を抱き、生物制御化学研究室に所属することとなりました。本研究室では、電極を細胞に



心残りをバネに変えて

環境管理学科
環境化学研究室4年生
高橋 美玖

私は、小学生の頃から環境問題や外来生物問題に興味を持ち、大学では自然に触れながら環境問題全般について学びたいと考え、環境管理学科を選びました。「後悔のないように、全力投球の大学生活を送る」というのが、高校卒業後に感じた心残りをきっかけに、大学入学時に立てた大きな目標です。

この目標を達成するためには、学業、教職課程の履修、アルバイト、ジュニアオーケストラ楽団の活動すべてに全力で取り組んできました。学業を第一優先にしつつも、趣味やアルバイトも楽しむためにメリハリをつけ、充実した毎日を過ごしています。

七転び八起き

生物機能科学科
生体分子化学研究室4年生
與喜元 文彩

が、部活動で培った集中力や忍耐力を活かし、冷静に判断しながら実験を進めることを心がけています。疲れたときには少し休憩を挟みながらも、歩みを止めることなく、残りの大学生活に全力で向き合っていきたいと思っています。

春から本格的に研究生活が始まりました。自身のみならず研究室の



間にも助けられながら進めることができています。地道に丁寧に操作を行うことを意識して、確実にタンパク質の精製をすることが今の目標です。3年生になった頃から就活を意識し始め、説明会や面接、インターンシップを通して、新しい環境に関わる機会が増えました。その会社のことも、そこで働く人たちの人生を知る機会であり、自分の将来像を思い浮かべながら就職活動を進められています。また、実際に仕事をしてみてもっと感じたり、向いてる

かもと思ったりと、選択することの多さに圧倒される毎日です。研究室の皆さんも同じように進路で悩んでいる、一緒に悩める人がいるのは心強いし、その悩める時間も今だけだとも思います。御祈りメールや研究での失敗など、うまくいかないことはありますが、何度転んでもまた立ち上がればいいと言いつけています。この時間は無駄ではないと信じて、これからまた増えていく悩みと、そして花粉とも戦っていきたいと思っています。



ハインリッヒハイネ大学での在学研究

応用生命科学科
准教授 福田 泰久

来の Unspecified Peroxygenase (UPO) という酵素を扱うものでした。実験手法は経験のないものがほとんどであり、今後、私の研究に必ず役に立つ多くの新しい技術を学ばせていただきました。デュッセルドルフは、リトルキーヨと呼ばれる街並みがあるほど、日本人に馴染みのある都市で、生活面では安心できることが数々にあります。一方、クリスマスマーケットやカーニバルなどのヨーロッパ文化にもたくさん触れることができました。このような貴重な機会を与えていただきました大学ならびに関係者の方々に心より御礼を申し上げます。



挑戦と出会いの大学生活

水産学科
水族環境学研究室4年生
河野 峻真

大学生活は、私にとって学びの場であると同時に、多くの挑戦と成長の場でもありました。

研究室の野外調査では、天然アユの細菌叢を調べるために、福井県や滋賀県の川にサンプリングに行きました。また、滋賀県水産試験場には、魚の採血に訪れる機会もありました。データをとるために徹夜で行った実験もあり、道のりは決して楽ではありませんでしたが、これらの経験は、貴重な学びの一部です。サークル活動では、水産実研究会に所属し、魚の



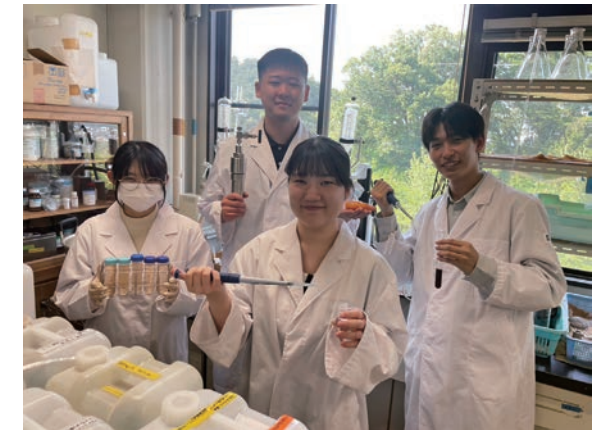
展示会では、多くの人々に魚の魅力やその環境を伝えることができ、たくさんの質問や感想をいただきました。休日には友人と釣りに行き、自然の中で過ごす時間を大切にしています。釣りをすることで特に目標としていた、尺イワナを釣り上げた時には、心からの感動を覚えました。

このような経験を通じて、私は、人とのつながり

4年間で学んだ事

食品栄養科学科
栄養機能学研究室4年生
明石 梨央

私の大学生活を振り返ると、初めての体験がたくさんあった3年半だったと思います。「食べることが好き」という理由でこの食品栄養学科に入学しましたが、入学前の私はほとんど料理をしたことがなく、野菜の切り方も分からないほどでした。しかし、実習をきっかけに家でも調理を練習し、今では家族に「おいしい」と言ってもらえるまでに成長しました。初めての大量調理の実習では、班全員で1つの献立を考案から調理まで行い、大変なことも多くありましたが、人



生で1番達成感を感じ、自信につながる経験となりました。また、これらの授業で得た知識や調理で学んだ

事が日常生活でも役立つようになり、入学前より食べ物への興味がますます強くなりました。

その経験もあり、今後は食材の抽出成分を用いたmRNAの代謝変化の観察という研究に取り組む予定です。また、来年3月に受験する国家試験では、今まで学んできたことを発揮できるように全力で頑張りたいと思います。



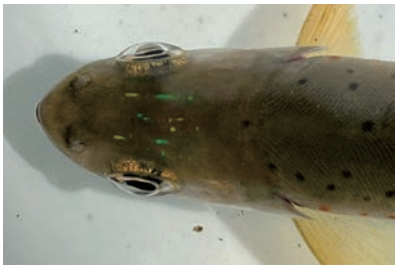
大学院生だより

農薬生産科学専攻博士前期課程
植物感染制御工学研究室
佐藤 唯都

私は、現在、「うどんこ病」に対する新たな生物防除法の「確立」をテーマに研究を進めています。うどんこ病は、植物の葉や茎にうどんの粉のような白い斑点(カビ)が生じる病気で、植物の生育を阻害することで収量減少や果実の良質低下などの問題を引き起こします。うどんこ病に対しては、市販の化学農薬の散布を中心に、防除が行われてい

大学院生報告
水産学専攻博士前期課程
水産増殖学研究室
石黒 ゆりな

私は三年生のころから、アマゴという魚についての研究を行っています。本種は溪流釣りの対象として人気がある魚ですが、森林伐採や堰堤の建設などに伴って個体数が減少しています。昔からその場所に生息している、いわゆる「天然」と呼ばれる個体群は現在では貴重な存在となっており、それらの個体群の生活史を明らかにし、個体数を増加させるために日々研究に励んでいます。アマゴに個体ごとの識別を行うことで、成長や河川内での移動についての



大学院生活での目標
応用生命化学専攻博士前期課程
応用細胞研究室
片山 竣介

私は「冷えによって起こる『むくみ』」について研究を行っています。この研究では、冷えを再現することでむくみを発生するモデル動物の作出を行い、そのモデル動物を用いた研究によって、冷水に触れることの多い家事や冷感性の方が感じるむくみの不快感を改善・予防することを目的としています。私は、大学3年生から応用細胞生物

大学院生活での目標
環境管理科学専攻博士前期課程
国際開発・環境学研究室
野村 しおり

私は今、植食性昆虫の生態研究をしています。元々は哺乳類好きで虫嫌いでしたが、ひょんなことから鱗翅目研究と出会い、知識ゼロから出発しました。動物の生態や行動に興味のある私にとって、指導教員の教えである「好きな生き物を研究するのではなく、自分が見つけた疑問を最短距離で証明するための材料(生物)を選ぶことの大事さ」は目からうろこでした。研究室に配属されてからの日々は困難や挫折の連続で、何度も心が折れかけました。しかし、先生・先輩方からの支えにより、大学院でも研究を続けることができています。昨年の経験や反省を活かし、大学院生として、失敗経験も含めてたくさんの方に後輩達に伝えていきたいと思っています。



大学院では、ジャコウアゲハが茎をまわるとかじり取る「環状剥皮」という行動の生態学的意義を解

大学院生だより
バイオサイエンス専攻博士前期課程
動物分子遺伝学研究室
上村 亮太

私はX染色体不活性化という哺乳類の雌に特有の生命現象について研究を行っています。ヒトを含め哺乳類は性染色体として、雄(男性)はXとY染色体を1本ずつ、雌(女性)はX染色体を2本持つています。雄の決定に関わる生存には必須ではない遺伝子が50個ほど存在するだけのY染色体とは異なり、X染色体には生存に必須な遺伝子を含め1000個以上の遺伝子が存在しているため、雌雄間でその数に2倍もの違いがあるのは大きな問題になります。そこで、哺乳類は雌が一方のX染色体を不活性化にすることでバランスをとるしくみを進化させました。私は不活性化されたX染色体がなぜ生涯を通して安定に不活性化状態の維持ができるのかを明らかにすべく研究を進めています。X染色体不活性化は発見から60年以上が経過しますが、未解明な部分も多く非常に興味深い生命現象です。研究を始めてから2年以上経ちますが、まだまだ失敗することも多く、落ちこむこともありますが、全容解明の一助となればと思日々研究に励んでいます。



米国ダラスでの在外研究
生物機能科学科
准教授 岡村 大治

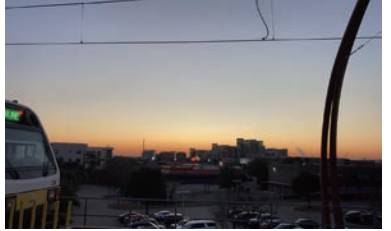
2024年9月から1年間、在外研究員として渡米し、テキサス州ダラスにあるUTサウスウェスタンメディカルセンターのJun Wu博士の研究室にて研究活動を行っています。Wu博士は異種間キメラ生物やヒト胚モデルの分野において、世界のトップを走り続ける研究者です。また、私にとっては留学中の研究パートナーであり、互いに励まし合いながら生存競争を戦った、背中を預けられる親友でもあります。10年前と同様に、日々の実験結果につくりで、タロパッチと呼ばれる(います)を対象に、水管理状況や塩分濃度等の水質に関する調査研究を行いました。たいいていのタロパッチは沿岸部の湿地帯に位置しており、調査の移動の際はエメラルドグリーンの海を横目に、ビールを片手にビーチに繰り出した欲望と葛藤していました。パラオではRed Roosterという名の地ビールが有名で、非常に美味です。名前の由来である野



毎日お弁当を食べていたフロアラウンジ

パラオ共和国での在外研究
環境管理科学科
准教授 木村 匡臣

2025年4月から7月までの4ヶ月間、西太平洋のミクロネシア地域に位置するパラオ共和国において、在外研究に従事させていただきます。受け入れ機関はパラオ地域短期大学です。パラオにおいて古くから主食の一つとして親しまれているタロイモを栽培する圃場(水田のような



最寄り駅からの研究所と夕焼けの眺め



鶏は島中いたるところで見られます。小学校までの子供の送り迎えや、日々のスーパーへの買い物など、日本ではなかなかできなかった家族サービスマでも、充実した機会となりました。農学部皆さまに改めて感謝申し上げます。

南スペインでの研究休暇
応用生命化学科
教授 森本 正則

2024年度の研究休暇制度で、2024年9月から1



年間スペイン南部アンダルシア州カディス県の公立大学カディス大学に滞在しました。こちらでは、理学部のFrancisco A. Macías教授の研究室でお世話になりました。この研究室の研究分野はアレロパシー(他感作用)ですが天然物全般を扱っています。研究は、大学周辺の野生植物の中で繁殖力旺盛で昆虫からの被害の少ない植物を見つけ、その成分分析を行っています。生活面では、ある程度のスペイン語が必要で、周りの方々に助けってもらいながらの生活です。また、日本とは習慣や考え方が異なるので、日本の良いところやおかしな所を再発見出来ました。皆親切で時間がゆつくり流れる感じで何事ものんびりです。ここへ来て、元々、気の長い自分がさらに気が長くなったと感じています。今回、自分自身を見直し、じっくりと時間をとって実験やデータ解析に取り組むことが出来ました。

第11回・第12回
緑友会ゴルフコンペ開催レポート！

令和6年10月5日(土)に「第11回」、令和7年3月2日(日)には「第12回」緑友会ゴルフコンペを開催しました。

これまで秋のコンペは9月に開催していましたが、近年の9月初旬はとにかく暑い！

汗は目に入るし、太陽はキラキラ…。ショットに集中できない！という声もあり、今回は1ヶ月遅らせて、10月に開催することに。

スコアはあまり変わらなかったですが(笑)、気温も心地よく、快適にラウンドを楽しむことができました！

【気になる賞品は…】優勝・2位・3位の方には、なんと近江牛のステーキor焼きセット！さらに5位・10位・15位

にも、似たような美味しい

賞品をご用意しています。腕自慢の方はスコア85前後、そしてブービーメンバーは130前後のスコア。でもご安心を！緑友会コンペでは「ダブルペリア方



2024年度
「すぎのこ会」報告

2024年9月29日(日)11時より、大阪上本町のシェラトン都ホテル志摩の間にて、「すぎのこ会」総会及び懇親会を開催しました。「すぎのこ会」は、近畿大学農学部植物学研究室、資源植物学研究室の全卒業



生を会員としています。1963年(昭和38年)から2007(平成19年)までの44年間の卒業生約600名は、全員が杉野守先生、若田馨先生の教え子たちです。

出と会計報告、懇親会ではお世話になった若田先生への花束贈呈やゼミ旅行の思い出話など、久々の再会で大いに盛り上がり、無事に閉会することができました。

すぎのこ会
会長 中井 精一



第15回KINKAN会
イベントを終えて

食品栄養学科の卒業生による「第15回KINKAN会イベント」を令和6年10月12日(土)に近畿大学農学部つながる館で開催しま

した。本年度は、例年と同様に懇親会をメインとしたイベントを開催し、近隣だけでなく、遠方からも多くの方に参加いただけまし



た。イベントでは、最初に近況報告等の自己紹介を行い、その後、自由に交流を深める時間を設けました。管理栄養士として情報交換をしたり、子育てや転職について恩師や先輩に相談したりと交流が深まっている様子が

見て取れました。お忙しい中お集まりいただいた先生方、卒業生のみならず、誠にありがとうございます。今後もKINKAN会のイベントについては、各期の運営委員より案内いたしますので、ご参加をお待ちしております。



農学部祭
の案内

毎年恒例となりました「農学部祭」の季節が今年もやってまいりました。今年度の農学部祭は、2025年11月1日(土)から11月3日(月・祝)までの3日間

催を予定しております。初日の11月1日(土)は、学生が主体となって企画・運営する体育祭を、続く2日(日)と3日(月・祝)には、一般の皆様にも広くご来場いただける農学部祭本祭を開催し、キャンパス全体がにぎわいと熱気に包まれます。例年ご好評をいただいている大型ステージ企画では、今年もお笑い芸人

による漫才やアーティストライブを予定しております。学生団体による音楽ライブも登場し、キャンパスに笑顔と音楽が響き渡ります。さらに、学内各所をめぐるスタンブラリー、ピング大会や、ゲーム形式で盛り上がるe-sports大会など、お子さまから大人の方まで毎年多くの笑顔が集まる人気企画となっております。今年も豪華景品をご用意する予定です。

各研究室・サークル・部活動による展示や模擬店も多数出展予定で、農学部ならではの学びや研究を楽しく体感していただけます。また、奈良県内の一部市町村による出店を含む収穫祭も同時開催予定です。



緑友会Facebookのご案内！！

- ・農学部情報や卒業生の活躍など掲載
- ・卒業生向けイベント情報も発信
- ・母校の成長をリアルタイムで確認

ぜひシェアをお願いいたします！

【緑友会公式Facebook】

令和6年度 近畿大学農学部緑友会活動報告

月 日	項 目	場 所
4月9日	運営委員会	第一会議室
5月14日	終身会費納付書発送幹事会	
6月8日	1)令和5年度事業報告	第一会議室
	2)令和5年度決算報告	
	3)令和6年度事業計画(案)	
	4)令和6年度予算(案)	
	5)その他	
9月10日	会報第29号会員へ発送	
10月5日	緑友会ゴルフコンペ	京阪カントリークラブ
12月10日	終身会費納付書2回目発送	
令和7年2月7日	終身会費未納者を6学科に通知	
3月2日	緑友会ゴルフコンペ委員会	加茂カントリークラブ
3月7日	委員会	C会議室
3月19日	緑友会賞 授与	

令和6年度 近畿大学農学部緑友会決算

<卒業者部会> (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6,147,950	郵便費	1,350,057
終身会費(遅延3名分)	30,000	印刷複写費	1,424,656
終身会費	3,310,000	会議会合費	51,340
広告掲載料	60,000	人件費	931,095
同窓会活動助成金(2回×50,000円)	100,000	緑友会賞 雑費	140,000
校友会同窓会費 立替	156,730	近畿大学創立100周年募金	500,000
寄付金	15,000	校友会同窓会費 立替	156,730
利息	2,651	支出の部計	4,652,252
合 計	9,822,331	次年度繰越金	5,170,079
		合 計	9,822,331

会計幹事 武田 徹 会計幹事 永田 恵里奈
上記のとおり、監査いたしました結果適正であります。
2025年3月31日

監 事 小林 徹
監 事 谷 哲弥